

令和6年度第3回宗像市民図書館協議会議事録(要点筆記)

開催日時	令和6年12月26日(木) 10:00~11:10	
開催場所	宗像ユリックス会議室9	
出席者	委員	森副会長 古沢委員 高杉委員 藤原委員 川上委員 白根委員 品川委員 (正副会長、宗像市民図書館協議会条例第3条の順)
	事務局	図書課(中野課長、西谷係長、占部主任図書司書)

【議事内容】

(事務局) 宗像市民図書館協議会条例第6条第2号により、委員の過半数の出席が宗像市民図書館協議(以下、「協議会」という。)の成立条件である。本日は委員総数8人のうち7人が出席しているため、協議会は成立することを報告する。尚、河内会長が欠席のため、本日の進行は森副会長にお願いする。

1 開会のあいさつ

2 議事録署名委員の指名

署名委員:白根委員、品川委員

3 審議事項

宗像市読書推進アクションプランについて

(副会長) 事務局から説明をお願いする。

(事務局) (資料「宗像市読書推進アクションプラン」に沿って説明)

(副会長) 令和7年度の事業内容を中心にご意見をお願いする。

(委員) 「えほんセット」の現在のセット数はいくつか。セット内容は。

(事務局) 現在7セット用意している。ロングセラーを中心に組んでいるが、今後は新刊でお楽しみ要素のある絵本もセットに入れたいと考えている。

(委員) ロングセラーで子どもたちに読み継がれている、読み聞かせに適している絵本も大切にしてほしい。

(事務局) 今までのロングセラーの絵本もセットに残した上で、お楽しみ絵本のセットを追加する。

(委員) 図書館に興味がない人に情報を発信すると、来館者が増えるのではないかと。乳幼児健診などの場を活用してはどうか。

(事務局) 母子手帳交付時に乳幼児への読書支援の取組を案内し、4カ月健診で実施しているブックスタートでも図書館の利用について案内している。

(委員) 子ども大学について説明をお願いする。

(事務局) 将来の夢につなげる、子どもがプロから学ぶ市が主催の事業。図書課が講師として参加予定。参加した子どもがテーマを設定して本を選び、図書館でひとつの展示コーナーを作るなど、職員の仕事を経験してもらうことを計画している。

(委員) ユリックス図書館に親子で気軽に読み聞かせができるコーナーが欲しいと保護者から意見が出ている。

- (委員) 情報発信の手段として、どのSNSを活用しているか。
- (事務局) 市公式LINE、Facebook を活用している。今まで以上に情報発信の頻度を増やしていきたい。
- (委員) 子どもに情報が届くように、宗像市立学校保護者等一斉連絡システム「すぐーる」を活用してはどうか。
- (委員) マルチメディアデイズとは何か。
- (事務局) パソコンなどを使って、文字や画像をハイライトしながらその部分の音声と一緒に読むことができるもの。
- (委員) 「身近なサービス拠点での図書館サービス」とあるが身近なサービス拠点とはどこか。
- (事務局) 既存の拠点(自由ヶ丘・赤間・吉武・池野・岬コミュニティセンター、大島、地島)のこと。
- (委員) サンリブの本の返却ポスト付近で本を読んでいる人を見かける。図書コーナーを設置してはどうか。
- (委員) 「脱炭素社会推進課」との連携講座について説明をお願いします。
- (事務局) 市の職員が講師となって、ゲームを取り入れながら脱炭素について自分たちができる身近な取組を学ぶ講座を予定している。連携講座は、市の重点施策を市民に広く理解してもらい、図書館が本を紹介することで、生涯学習につながる事業として始めた。
- (委員) 「読むことに困難がある市民へのサービス」は、高齢者も対象となる。高齢者は昔のことをよく覚えており、回想法という心理療法がある。図書館には古い街並みが写った写真集などがある。将来的に市民から昔の写真を集めてデータ化し、図書館のHPにアップしてはどうか。学校での学びにもつながる。
- (事務局) 令和11年度に「地域・行政資料のデジタル化」の検討を予定しており、参考としたい。
- (委員) 利用者の年齢構成を教えてください。
- (事務局) 登録者一人当たりの貸出冊数は、0～6歳と61歳以上が多く、中学生、高校生、大学生が少なくなっている。
- (委員) 「幅広い蔵書の構築」とあるが、どのように構築していくのか。
- (事務局) 現在の資料構成比率は、小説、社会科学などが高くなっている。どの分野が多く借りられているか分析し、購入につなげたいと考えている。
- (委員) バックヤードツアーや図書館に宿泊するなど、普段見られない図書館の姿を公開するような、読書のきっかけとなる取組を考えているか。
- (事務局) 子どもを対象にバックヤードツアーを行っている。大人に対しても図書館を知ってもらうイベントを検討していきたい。
- (委員) 授業支援シートの内容、学校図書館の備品を更新する順番について説明をお願いします。また、調べる学習コンクールの作品をHPで閲覧できないか。
- (事務局) 授業で学校図書館の資料を使ってもらえるように、授業の導入、調べ方、まとめ方、それぞれの場面で活用できる資料を单元ごとにまとめた授業支援シートを作成し、学校の共有ドライブに格納している。備品については、閲覧機・椅子などを中心に、購入年度や消耗具合を調査し、買替の優先順位を判断している。調べコンの作品データは学校の共有ドライブにアップし、子どもたちが閲覧できるようにしている。また、作品の複製を年に1回ユリックス図書館で展示している。
- (委員) 学校に通えていない、エール、ホープ、自宅学習の子どもたちに、読書サービスは届いているか。
- (事務局) エールに通う子どもには、ユリックス図書館でのボランティア活動を通して本に触れてもらった。ホープに通う子どもには、ボランティアによるおはなし会を開催した。学校に通ってなくても、電子図書

館を利用できるため、周知していきたい。

(委員) 一般の人は学校図書館にある資料を検索できない。学校で活動しているボランティアは、子どもたちが読んでいる本を知りたい。ボランティアが今まで以上に学校図書館を利用できるような開かれた施設にならないか。

(委員) 各学校の判断によるが、学校で活動するボランティア団体には学校図書館の資料を貸出できると思う。

(事務局) 学校図書館所蔵の本を市民に公開することは、現状では難しい。図書課や学校司書は、市立学校全校の蔵書を確認できるため、まずは図書課や学校司書へ学校図書館の蔵書を検索してもらうところから始めてはどうか。

4 その他

令和7年度の協議会は、1回の開催で、6月を予定している。

署名委員 白根一夫

署名委員 品川恭徳